

『防犯』をより身近に

株式会社ライコム 営業一課
防犯設備士 第10-21307号
防犯コンシェルジュ 神奈川県警委嘱第26-1号

相沢 浩



私は横浜市にあります株式会社ライコムに勤務しております。弊社では防災機器、防犯機器の卸、販売を行っており、「創業40年 安心・安全・リニューアル」の提案企業です。

私は数社の転職を経て、6年前に営業として入社し、以来、主に防犯機器の提案を行って参りました。

実は前職まで防犯とはかけ離れた業界におりましたので、ひとくちに『防犯』と聞いても、わかっているようでわかっていない素人でした。特に防犯カメラは駅やデパート、コンビニエンスストア、街中と目にする機会が多くなってきたのにも関わらず、知らないことが多かったり、テレビドラマなどの影響から間違った知識を持っていたり、驚くことが多くありました。

日々商品知識を吸収しながら防犯機器の提案営業を行い、平成22年に防犯設備士の資格を取得いたしました。それからは得た知識を基に神奈川県防犯設備士協会(現 NPO法人神奈川県防犯セキュリティ協会)にて防犯診断、防犯講演をさせて頂きました。仕事としても防犯カメラの提案が多くなってきておりました。当初は防犯カメラに関しては、機器性能を細かく伝え、どういった製品なのかを伝えることが重要だと思ってお

りました。しかし、専門的な知識を伝えれば伝える程、専門用語が多く聞いている側はわからない言葉ばかりになっていたようです。当然、機器性能は大切な部分ではありますが、防犯カメラが持っている性能を専門用語で並べ立てることよりも、何故、防犯カメラが必要なのか?導入することによる有用性は何なのか?そこからスタートすることが大切であり、必要とされていることだと徐々にかわってきました。

きっかけは、入社して2年目の頃、警察を通じて、ある被害に遭われている方へ防犯カメラの貸出依頼がありました。その時は数か月間設置したことにより、無事に問題を解決し、貸出の防犯カメラを撤去して依頼者からも感謝のお言葉を頂き、私自身も役にたてたと少し満足しておりました。しかし、1年近くたったある日、その方が痛ましい事件に巻き込まれるニュースを目にしました。まさかと疑いましたがニュース映像を見る限り、私が訪問しカメラを設置したお宅であることに間違いはありませんでした。貸出ではなく、そのまま防犯カメラが設置されていたらと思うようになり、その頃から、『防犯』をより身近に感じてもらえるよう、防犯カメラの有用性を丁寧に伝えることが大切だと感じるようになりました。

同時に私が入社した頃の頃、防犯カメラメーカーのカatalogを見るたびに、専門用語ばかりでわかりにくいことを思い出し、自分がどうしたら理解できるのか考えていたことを思い返すようになりました。平成24年に神奈川県警生活安全部より防犯コンシェルジュを拝命し、地域住民等の要望に応じて、専門的な防犯知識を身につけるための防犯講習防犯用品展示会、防犯診断等を行う役割を賜り、自治体や町内会単位での防犯講演を多くさせて頂くようになったからです。フレームレート、



座間市防犯活動支援育成研修会

ワイドダイナミックレンジ、バリフォーカルレンズ…防犯カメラには重要な性能ですが、そんな専門用語を一度講演で聞いただけで理解するのは難しいことです。私自身がそうでしたから。私は防犯カメラの性能を理解するために、身近な物に置き換えて理解するようにしていました。「防犯カメラ」と聞くだけで、何か特別な性能ばかりで難しいものではと考えていましたが、動画を撮影するビデオカメラ、写真を撮影するカメラなど「防犯」が付かないだけで同じような性能を持ったものを普段から使っていることに気が付きました。自分が知っている機器で考えたらとても理解しやすかったので、その例えを講演に用いて防犯カメラをわかりやすく伝えることに心掛けました。

あれば安心することはわかっていても、縁遠いものでは意味がありません。やはり防犯カメラを身近なものとして理解されることにより、防犯カメラがあることが何よりの有用性だと講演をさせて頂く時は心掛けております。

今後も講演をさせて頂く時は、自分が入社した頃を思い出してよりわかりやすい説明、そして、痛ましい事件に巻き込まれた方のことを忘れずに、防犯カメラによって抑止できることをお伝えできればと考えております。



海老名市安全安心フェスティバル



防犯技術セミナー